

生活単元学習 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時

1 単元名 生活単元学習(進路について)

2 教材観

中学校生活も後半部分を迎え、自己の進路を本格的に考え決定しなければならない時期にきている。今までも支援学校の訪問や職場体験、体験入学などを通して進路についての学習を行ってきた。ここでは、上級学校卒業後も視野に入れながら自分の進路を考え、自己の進路計画について考えさせたい。

3 生徒の実態

集団としては比較的落ち着いた雰囲気与生活をし、他を思いやる心を持った集団である。男子生徒は集団での交わりを苦手としており、不登校傾向がある。女子生徒は、集団での交わりは苦手とはしていないが、自分の思いを言葉にして上手く表現し伝えることを苦手としており、生活、学習の両面で苦手なものは避けて通ろうとする傾向が見られる。二人とも中学3年生なので卒業後の進路を含め、自分の将来設計について本格的に考えさせたい。

4 本時について

(1) 本時の学習 進路を考える

(2) 本時のねらい

①先輩や保護者の話を聞き、それを参考にして卒業後の進路について考え、明確な目標を持って今の生活に生かす。

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

先輩の意見を聞いて参考にしたり、保護者の願い等を聞き自分の進路について考えたりして、現時点での自分なりの将来像を描ける。

(4) 展開構想 ○→主な学習活動 ・→(予想される)生徒の反応 ①→評価場面

学習のステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	かかわり合いの形態
導入	○進路希望調査について	調査票の掲示は分かりやすく、できるだけ大きく掲示する。	個人
学習課題 自分の進路計画をたてよう。			
第1ステップ	○将来の自分を考える。 ・今の時点で考えられる、現在、将来の自分の希望	現時点で考えられることをシートに記入させる。 ①観察	個人
第2ステップ	○進路決定で大切なことや学校生活で大切なこと (保護者の願いや先輩の意見を参考にしして)	保護者や先輩の話から気づいたことやわかったことをシートにまとめさせる。シートに記入したことをもとにグループで話し合わせ、発表させる。 ①発表	個人 グループ
ラストステップ	○中学校卒業後の自分 ・卒業後の具体的な自分の姿	グループで話し合ったこと等を参考にしながら、現時点で考える卒業後の自分の姿を考えさせる。 自分の考えをはっきりと大きな声で発表させる。 ①学習シート	個人